

# ともえ 2040

発行：みよし学園コミュニティ・スクール  
(事務局：市立三次中学校)

令和6年4月1日  
No. 49

## 生活科と総合的な学習の時間で育む力

＝「地域資源の活用と協働」による思考力と表現力の育成＝  
～「グッドタウン三次」学習を通して～

目標：三次をすてきなまちにする。そのために自分たちのできることを考える。

三次中学校区では、小学校で生活科と総合的な学習の時間を中心に郷土学習を重ね、中学校では、三次の良いところや誇れるものを生かし、まちの魅力発信を通して地域に貢献する生き方について考えさせ、小中学校を通して「まちガイド育成プログラム」に取り組んでいます。

今回は、この春卒業する三次中学校の3年生が、三次のまちづくりや活性化に取り組む人々の思いや願いを理解しようと、フィールドワークなどで情報収集してきたことをまとめ、次に紹介する「ガイドブック」を作成しました。

	主な学習課題
小1	三次の四季を楽しもう
小2	そだてよう自分の野菜
小3	ふるさとはっけん三次探検隊
小4	ふるさとはっけん
小5	つながる 三次！ ～ボランティアをしよう～
小6	つながる 三次！ ～伝統文化を考えよう～
中1	グッドタウン三次
中2	まちづくり提言
中3	みよしまちガイド

【まちガイド育成プログラム】

## 三次の魅力の発信

### 中学生が三次の魅力を紹介する「ガイドブック」を作成しました 三次中学校

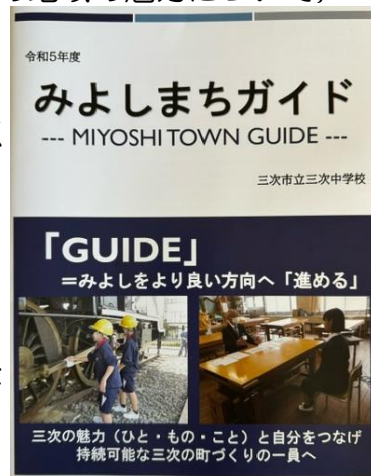
三次中学校では、3年生が校区の歴史・文化や自然など、多くの地域の魅力について、テーマを設定して、調査研究してまとめる取組をしています。

今春の卒業生は、①食べ物、②活動、③土地活用、④イベントの4つのテーマを設定し、それぞれの魅力を踏まえ中学生の視点から活用・提案するガイドブックを作りました。

ガイドブックは、今までの学習したことから、それぞれの項目の特性・利点に着目し、まちづくりの活性化につながる提案を作成してみました。来年度は、実際に地域行事に参加・参画させていただきながら、この中の紹介しているものを1つでも具体的な実践・実現へとつないでいきたいと思えます。

三次ふれあい会館や河内コミュニティーセンターにもガイドブックを置かせていただいています。地元の皆様には、是非、中学生が作ったガイドブックを手にとっていただき、どのようなものか見ていただき、ご意見やご感想をいただければ幸いです。

今年度も地域の方々から新たな魅力を学び、小中学生がまとめたものを発信していきたいと考えています。引き続き、ご協力をお願いします。



# 第3回三次中学校区運営協議会(2/29)を終えて

(みよし学園コミュニティ・スクール)

## 1 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進(1/27)【県教育委員会主催】

「地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり」フォーラム発表報告

「社会に開かれた教育課程」でつなぐ中学校区の取組と題して、これまで行ってきた様々な地域との協働活動を写真や動画により、子どもたちの実際の姿やその実践の意図を広島県内に広く発信することができました。日常の児童・生徒・地域の皆さんが自らの関わりにより、子供たちの学びが深くなっていると同時に地域の皆様の喜びの源にもなっている様子をよくわかっていただいたと思います。

## 2 各学校評価に係る年度末のまとめ(概略)

令和6年2月29日(木)に、見出しの協議会が三次ふれあい会館で行われました。

### ・三次中学校

3つの資質・能力や非認知能力と言われる「コミュニケーション能力・協調性・主体性」が肯定的評価80%以上であった、特に「協調性」については全国平均を上回っており、多くの項目が学年を進むにつれてその傾向は顕著になっている。これは、地域との継続的な関わりの実現や本物の社会との出会いによる学習とのつながり、そして励ましていただける評価者が増えたことによる自己効力感の向上によるものと考えられる。

### ・三次小学校

コミュニティ・スクールの取組により、地域の方にゲストティーチャーとして指導していただき豊かな教育活動を行うことができた。そのことと「できる・分かる」を味わう主体的・対話的な授業づくりにより、学力向上、3つの資質・能力の向上につながった。主体性では、85%以上の児童の肯定的評価であった。協調性、挨拶などのコミュニケーション能力も向上が見られ、取組の手応えを感じている。

### ・河内小学校

コミュニティ・スクールとしての活動がスタートするまで地域と共に活動や学習をしていたことを、本年度5つの部会に整理して、組織・体制づくりができたことで、今後の活動が持続可能なものになった。特にキャリア教育部会や学習支援部会で地域と共に活動や学習することを通して、表現力や思考力が向上したとともに、地域の方々の児童への支援や激励などで、児童の自己効力感や自己肯定感が高まった。

## 3 その他 各委員より

- ・子供たちが、地域の中で育っているという実感を持たせることを通して、成功体験と自信を持たせたい。
- ・生徒・児童会の自治活動の活性化を図るために、計画性をもっと発揮する場を確保していく必要がある。
- ・メディアコントロールに係る講習会を親子で持ち、基本的な生活習慣の確立に向けた啓発活動をしていく必要がある。
- ・小中三校が連携してさらにキャリア教育の充実を図るためにも、「比熊山」「ものけ」等の文化的財産をより系統的に学習していく必要がある。
- ・今後もこの機関紙「ともえ2040」の地域への発信を通して、コミュニティの皆さんの学校への参加から参画へと深化する中で、子供たちの学びが豊かになっていると同時に地域の活性化につながっていることを広く知らせていきたい。



「ともえ2040」へのご意見やご感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校 TEL 0824-62-2896 FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp